

有田川町では古くから林業が産業として行われてきました。林業という力仕事のイメージがありますが、最近は女性が活躍する場も増えてきています。

今回は、林業士として働く2人の女性にお話を伺いました。

——林業という業界で働くことと想った理由を教えてください。

竹上木材 井谷さん（以下、井谷）…高校3年生の選択科目の中で、「ウッズサイエンス」という科目があり、授業を受けました。1年間、週に1度の授業の中で、先生がチェンソーを使っているのを見て、「かっこいいな」と思ったことと、わたしも実際に木を切らせてもらった時に「楽しい」と感じたことがきっかけです。高校を卒業したらすぐに就職しようと

考えていましたが、先生の勧めもあり、和歌山県農林大学校に進学しました。卒業後、竹上木材（株）で働いています。

清水森林組合 長峯さん（以下、長峯）…外国語を勉強するために大学に進学し、いくつかの職を経験したのちに、出身である和歌山に戻って長く続けられる仕事がないと考えるようになりました。林業のことは当時よく知りませんでした。林業のことは当時よく知りませんでした。就職につながると思えば、清水森林組合に就職しました。

——お二人とも和歌山県の農林大学校に進学されたんですね。

長峯…はい。私が入学したのは、農林大学校に林業研修部が新設された年でした。井谷さんとは1学年違いですね。

井谷…5人同級生がいましたが、私

以外全員男性で。長峯さんと一緒だったらよかったのかなと思います（笑）。学校では仕事に直結する免許を10個以上とれて、重機の取り扱い方なども教えてもらったのでありがたかったです。

——仕事内容を教えてください。

井谷…普段は現場に出て重機を操作し、伐採などを行っています。

長峯…今は育児休暇中ですが、お休みに入るまでは事務作業がメインで、時々現場に出る、という働き方でした。

——仕事をする中で印象に残っていること、うれしかったことや辛かったことなどはありますか。

井谷…重機で仕事をするのが多く、技術が上がってきたのが自分でも分かってうれしく思っています。元々体力には自信があり、伐採などを現場への配属も自分で希望しましたが、思っていた以上に体力的にしんどいこともありまして。でも周囲の人が「すごいね」と褒めてくれたり、励ましてくれたりするので頑張れています。

長峯…この仕事をする事で町の人と話をする機会が多くありました。自然が多いところに住んで働いて、まわりがいい人も多くて…。和歌山で仕事ができるのがとてもありがたいですね。

お2人の出身校 「和歌山県 農林大学校」 とは？

長峯さんと井谷さん、2人は和歌山県農林大学校林業研修部の出身。どんなことが学べるのか、ここで少し紹介します。

和歌山県農林大学校は、和歌山県の農業と林業の担い手を育成する教育研修機関です。林業のことを学べる林業研修部では、経営知識・専門技術の取得を目指す「林業経営コース」と、県内の林業事業体に所属する林業従事者を対象とした知識・技能のスキルアップを目指す「スキルアップコース」の2つのコースがあります。

林業経営コースでは、1年間の研修期間の中で、林業経営に必要な基礎知識を座学で学べるほか、個別指導でチェンソーや重機などの機械操作実習時間が確保されています。さらに、現場の作業に必要な15の資格を追加費用なしで取得でき、インターシップをはじめとした就職指導を受けることができます。

お問い合わせ

「和歌山県農林大学校 林業研修部」
電話／0739・47・4141



竹上木材株式会社 井谷 湖々音さん

井谷さんプロフィール

平成30年（2018年）3月 有田中央高等学校清水分校を卒業し、林業について学ぶため同年4月和歌山県農林大学校に進学。
平成31年（2019年）4月 竹上木材株式会社に就職。